



平成 22 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 日本産業ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 相田 英文
コード番号 4352 札幌証券取引所
問合せ先 取締役 近藤 茂
(TEL 03-6440-9930)

(追加・訂正) 会計監査人の異動に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 8 月 2 日付「会計監査人の異動に関するお知らせ」について発表いたしましたが、その内容の一部について不十分な箇所があり、また、「6. 5 の理由及び経緯に対する監査報告書等の記載事項に係る退任する公認会計士等の意見」について、平成 22 年 8 月 11 日付にて、同監査法人より表明がありましたので、下記のとおり追加・訂正開示させていただきます。なお、本日臨時報告書提出に合わせて発表を行っております。

記

5. 異動の決定又は異動に至った理由及び経緯

(訂正前)

当社は、フロンティア監査法人と来期以降の人材及び資金等をパワーシフトして行く上で協議をした結果、当社の経営状況や現在の子会社数等を勘案した結果、同監査法人との合意に至らず、本日付で監査契約を合意解除することとしたしました。

(訂正後)

当社は、当社の経営状況や現在の子会社の状況等を踏まえ、来期以降の経営計画を策定していく中で、次期の会計監査人の選定について、監査報酬の観点から慎重に社内協議を行い、現会計監査人であるフロンティア監査法人と来期の監査契約は締結しないことを決定し、同監査法人にその旨を申し入れました。それに対し、同監査法人より、今期における財務諸表に重大な影響を及ぼす可能性がある会計処理の問題や継続企業の前提に関する重要な疑義について時の経過を見る必要があるために、来期以降継続して監査が出来ないのであれば、辞任したいとの申し出を受けました。その後、同監査法人と平成 22 年 8 月 2 日付で監査契約の合意解除をするとともに、同監査法人は会計監査人を退任することとなりました。

6. 5 の理由及び経緯に対する監査報告書等の記載事項に係る退任する公認会計士等の意見

(訂正前)

特段の意見はない旨の申し出を受けております。

(訂正後)

当監査法人は、会社の平成21年12月以降における株主・債権者から拠出された資金に基づく投資及びその解消について、その目的及び経済合理性等に関して経営者から十分な説明を受けておらず、今期の継続企業の前提に関する重要な疑義についての判断を行うにあたり、今後の資金調達について監査意見表明のための合理的な基礎が得られないおそれがある。また、今期の財務諸表に重大な影響を及ぼす可能性がある会計処理について、現状では来期以降における過年度訂正の要否に
関し、不明な部分がある。これらを総合的に勘案し、当監査法人は会社との間の監査契約を合意解除した。

以上